

『令和7年度(第41回)研究発表会』開催のお知らせ

主催:一般社団法人日本応用地質学会九州支部・九州応用地質学会

令和7年度研究発表会を下記のとおり開催いたします. 多数ご参加下さいます様ご案内申し上げます.

●日 時: **令和 6 年 11 月 27 日 (木)** 13:00~17:20 (受付開始 12:30~)

●場 所:福岡県中小企業振興センター4階 401会議室

福岡市博多区吉塚本町 9-15 TEL; 092-622-6230(代表)

●参加登録費:¥1,000(会員),¥2,000(非会員),学生無料

※参加費には論文集(電子版)代を含みます.なお、論文集の印刷は行いません.

※非会員の方でも参加可能です.

※非会員であっても、所属企業が賛助会員の方は、1企業あたり2名まで会員価格とします.



〇申込専用フォーム

●申込方法 :参加希望者は,「参加者氏名」「所属」「メールアドレス」「連絡先」「会員種別」「参加形態(会場またはオンライン)」等の必要事項について,下記 URL から専用フォームにアクセスして申込を行ってください.

(これまでどおり事務局へメール・FAX による申込も可能です)

○申込専用フォーム(おすすめ) https://forms.gle/4JzMxWNHayhk3ecs7 (右上の QR コードからも入力できます)
申し込み後、参加登録費を郵便振替にて送金願います。

○申込期限 11 月 20 日(木) ※お早めの申し込みをお願いします。

オンライン参加の場合は、通信状況によっては聞き取りづらいこともありますので,なるべく現地参加をお願いします.

●申 込 先:一般社団法人日本応用地質学会九州支部 九州応用地質学会 事務局

E-mail: office@kyushu-seg.org

〒812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12 R&F センタービル 5F 日本工営株式会社 福岡支店 基盤技術部内

TEL: 092-475-7564(グループ代表) FAX: 092-475-7135

〇郵便口座:01780-7-130199 口座名:九州応用地質学会事務局

※振込の通信欄には「研究発表会(ケンキュウハッピョウカイ)」と明記し、氏名と所属を記載ください.

● C P D:3.5(予定)

●意見交換会:6,000円(税込:当日徴収)18:00~ 博多駅近くにて予定しております.

研究発表会 プログラム

	時	間	内 容 (〇印は講演者)
	13:00~	13:10	開会の挨拶・・・池見 洋明 支部長(日本文理大学)
	13:10~	13:25	発表 1 多点温度検層器とペーパーディスク型流向流速計を用いた地下水流動調査 〇藤井 稔(地下水環境リサーチ)
	13:25~	13:40	発表 2 地下水観測孔の状態とストレーナータイプが与える流向流速測定結果への影響 〇都築 孝之(日本物理探鑛)・ 竹内 篤雄(自然地下水研究所)・
	13:40~	13:55	宮崎 基浩・原澤 剛史(芙蓉地質)・岩瀬 信行・五十嵐 慎久(キタイ設計) 発表 3 砂防堰堤設計における三次元測量 — 礫径・立木調査への可能性 — 〇梶原温人・梶山大智・池見洋明(日本文理大学)
	13:55~	14:30	(ポスターセッション約 30 分)
1	<mark>4:30~</mark>	15:30	
			国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報研究部門 主任研究員 川畑 大作 先生
	15:30~	15:40	(休憩 10 分)
	15:40~	15:55	発表 4 点群駆動デジタルツイン斜面における落石シミュレーションの初期検討 *1 ○本田博之(九州大学大学院)・三谷泰浩(九州大学大学院)・呂高原(九州大学大学院)・ 笠間清伸(九州大学大学院)・中倉弘道(大日本ダイヤコンサルタント)・ 柴田佳久(大日本ダイヤコンサルタント)・吉川洸希(大日本ダイヤコンサルタント)
	15:55 ~	16:10	発表 5 高精細点群地形データを用いた地形判読の道路防災分野での利活用 〇小野山 裕治 (国際航業)
	16:10~	16:25	発表 6 断層折れ曲がり褶曲で形成される 2 種類の活断層一警固断層における連動型地震の可能性一 〇吉村辰朗(第一復建)
	16:25 ~	16:40	発表 7 自然災害伝承碑の「言い伝え」の空中写真を用いた視覚化の事例 〇山田 好之助(藤永地建)
	16:40~	16:55	発表 8 令和 7 年 8 月熊本豪雨災害速報ー繰り返す土砂災害ー 〇梅﨑基考(アバンス)
	16:55 ~	17:05	(休憩 10 分・優秀発表賞採点)
	17:05~	17:20	優秀発表賞表彰および講評 閉会の挨拶・・・大石 博之 副支部長(西日本技術開発株式会社)